

要旨原稿の書き方見本

タイトルは
ゴシック体16 pt

氏名、所属、本文は
ゴシック体10.5 pt

20 mm

シランカップリング剤を用いたガラスの表面改質

(材料国際高・材料化研) の材料はじめ、技術 正

【緒言】シランカップリング剤による表面改質は無機表面に様々な性質を付与する事ができる。本発表では技術的課題を提起し、それらにむけた研究状況についての現況を示し、今後の展開について検討した。

【実験】シランカップリング剤の合成は以下のスキームに従って行った。シランカップリング剤による表面改質はその実験過程に使用される装置も多岐に亘り周回な準備が必要である。ガラス表面での液体の接触角は光学式接触角計を用いて測定した。

【結果】表面改質したガラス上での水の接触角はカップリング剤の鎖長の増加に伴い変化した。

20 mm

20 mm

<記入上の注意>

1. 「講演要旨集」はA4版で、講演1件につき見開き2ページとなります。
2. 講演要旨原稿(以下要旨原稿という)は、文書作成ソフト(例えばMicrosoft Word等)を用いて作成し、周囲の余白設定を上下左右共に(20 mm)となるように設定してください。
3. 要旨原稿1枚目について:上から講演題目(所属)発表者名(発表者に○)本文の順に書き題目と(所属)の間発表者名と本文の間をそれぞれ1行あけてください。
4. 要旨原稿2枚目について:1枚目に引き続き 本文を左上から空白行なしに記入してください。
5. 教科書などと同様に、横書きの文書では句読点は「、」(カンマ)および「。」(マル)または「.」(ピリオド)を用いてください。
6. 本文は図表を含めて2000~2500文字程度になるように記入して下さい。また要旨を読みやすくするため適当な見出し(緒言、実験、結果、考察など)をつけて下さい。
7. 要旨原稿は**必ずPDF形式に書き出して提出**してください。Word形式等、その他の形式では受け付けられません。

20 mm